

教材教具および題材	学部	授業名（主たる教科領域）	執筆者
ジャンボかるた	小	グループ学習 低学年あじさい (国語・算数)	辰巳満保 竹内悠里 伊藤雄太

<ねらい>

- ☆グループのいろいろな教師や友達とのやりとりを楽しむ。
- ☆かるたの簡単なルールが分かり、相手を意識しながら取り組む。

<内容（作成方法・使用方法・工夫点など）>

A4サイズのジャンボかるたを使用しました。絵本『あっちゃんあがつく』を読み、文字への興味を膨らませた後、「あっちゃんあがつく〇〇〇」「かっちゃんかがつく〇〇〇」といった読み手の言葉を聞いて、1対1（教師や友達と一緒に）で取り組みました。

○工夫点

絵札にイラストを取り入れ、文字が読めない児童も分かりやすいようにしました。一枚も取れないということがないように、同じ札を2～3枚用意しました。

<良かった点・改善点（児童生徒の反応を含め）>

文字が読めたり、興味があったりする児童の多いグループだったので、毎回期待感をもって取り組んでいました。ルールも分かりやすかったです。待っている児童も、一緒になって「こっち。」「ちがうちがう。」と言って楽しんでいました。

最後にはそれぞれの取った絵札の枚数を数えることを楽しんでいました。一緒にした教師や友達より多くとれたときには、「勝ち!」「やったー!」といったような勝ち負けを理解して楽しむような反応も見られました。

<その他（材料、費用、購入先等）>

厚紙、かるた札（あ〜こ）、ビニールテープ

